

口腔機能再建学実験実習

4 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年)

東 雅之 (授業責任者)・教授 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 松本文博・講師 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 桃田 幸弘・講師 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座
茂木勝美・助教 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 青田 桂子・助教 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】 口腔顎顔面領域における新規の生体材料の開発, 口腔機能の回復および新規治療法の開発に関する実験指導および論文作成の指導を行う。

【授業概要】 高度に進歩する歯科臨床の現場においては, 治療後の組織再建や口腔機能回復が重要な課題となっている, 生体親和性を有する各種代替材料を用いた治療法の開発をはじめ, 顎口腔形態・機能や歯科的侵襲に対する生体の応答性に関する新しい評価法の開発等の生じる顎口腔形態・機能異常の発症機構の解明および予防法・治療法開発に関する実験指導を行い, その成果を学術論文にまとめる方法を指導する。

【履修上の注意】 講義担当者の都合により, 講義時間等における変更の可能性がある。本年度は e-learning 学習は行わない。

【授業計画】

- 1~2. 口腔顎顔面外科領域における実験の総括 (担当者: 藤澤健司)
3. 口腔顎顔面外科領域における論文抄読と作成指導 (担当者: 藤澤健司)
4. 口腔顎顔面外科領域における新規手術手技の開発とその評価方法 (担当者: 藤澤健司)
- 5~7. 細胞生物学的実験法 (担当者: 工藤景子)
- 8~10. 分子生物学的実験 (担当者: 茂木勝美)
- 11~12. 組織学的実験法 (担当者: 館原誠晃)
13. 骨髄由来成体幹細胞を用いた骨・歯の再生 (担当者: 茂木勝美)
14. iPS 細胞を用いた歯の再生 (担当者: 工藤景子)
- 15~17. 動物モデルを用いた軟組織治癒実験法 (担当者: 藤澤 健司)
- 18~19. 骨折モデルを用いた硬組織治癒実験法 (担当者: 藤澤 健司)
20. インプラントや PRP を用いた硬組織治癒実験法 (担当者: 藤澤 健司)
- 21~22. 顎関節疾患実験モデルの作製 (担当者: 松本文博)
23. 顎関節疾患標本作製法と顎関節滑液採取法 (担当者: 松本文博)
24. 顎関節滑液解析の現状と展望 (担当者: 松本文博)
25. 新規骨止血剤の開発に関する実験 (担当者: 桃田 幸弘)
26. 新規インプラント外科手術法の開発に関する実験 (担当者: 桃田 幸弘)
27. 新規生体材料の開発と動物埋入方法・実験 (担当者: 湯浅 哲也)
28. 新規生体材料の開発と細胞評価方法・実験 (担当者: 湯浅 哲也)
29. 動物モデルを用いた骨折治癒過程検索法 (担当者: 工藤 景子)
30. 上皮細胞の接着メカニズム実験法 (担当者: 工藤 景子)

【成績評価】 全講義回数の 2/3 以上の出席を満たすこと

【再試験】 行わない。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217420>

【連絡先】

⇒ 東 (088-633-7351, azumasa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 特記事項なし